

介助に役立つ「食器えらび」と「食べさせ方」のアドバイス

自分で食べられない人を介助する

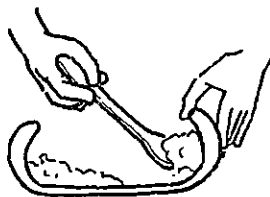
● 食器えらび ●

- 縁が内側にカーブしたものが食べ物を寄せやすく、すくいやすい。



- 高台が大きい方が倒れにくいし、動きにくい。

※ すべり止めマット を敷くのもよい。



● 食べさせ方 ●

- ① 最初に口の中を水やみそ汁など水分でしめらせる。
- ② 自分が食べたいものを選んでもらう。
(食べる順番を自分で決めてもらう)
- ③ スプーンに軽く一スプーンをひと口としおおよその目安とする。
- ④ 飲み込んだことを確認してから次の食べ物を口に運ぶ。
- ⑤ その人の食べるスピードに合わせる。
(介助者の都合や時間で慌てさせない)
- ⑥ 口に食べ物を持っていく時、「…これはお肉だよ」など声かけをする
- ⑦ ^{おせ} 咽る人には飲み物にとろみをつけたり、ゼリー状にすると飲み込みやすくなる

自分で食べられる人

● 食器えらび ●

- 縁が内側にカーブしたものが食べものを寄せやすく、すくいやすい。
- 高台が大きい方が倒れにくいし動きにくい。
※ すべり止めマット を敷くのもよい。
- お茶や汁物のためにストローを使うのもよい。
- 指先に力が入らない人には 介護用箸 や持ち手を太くしたスプーンなど市販品を使うのもよい。

● 食べさせ方 ●

- ① 飲み物を必ず用意し、食前に少し飲んでもらう。
- ② 食べやすい形態(一口大に切るなど)にする。
- ③ ^{おせ} 咽る人には飲み物にとろみをつけたり、ゼリー状にすると飲み込みがよくなる。〜♪〜
- ④ 食べる雰囲気大切にする。



地域サロン

2018年

1月10日(水) 10:30~12:30 ■ 福祉センター・2F和室 ■ 参加費 250円

<内容> 介護する人の健康づくり体操と小物づくり、軽食、おしゃべり。

2月14日(水) 10:30~12:30 ■ 福祉センター・2F和室 ■ 参加費 250円

<内容> 認知症の理解、つきあい方、II、軽食、おしゃべり。

☎ 問い合わせ・申し込みは… みよし市長寿介護課

0561-32-8009

NPO法人・あいちNPO市民ネット7-7センター

090-4164-1606